

「子どものようになる人」 マタイによる福音書 18 章 1-5 節

2022.11.13

●アウトライン

1. 子どものようになる人
 - ・天の国でいちばん偉い者
 - ・「子どものようになる」とは
 - ・保育園の運動会の話
 - ・他人との比較ではなく、神に愛される自分に目を向ける、天の国の幸い
2. 小さな者を受け入れる
 - ・他人との比較から生まれる弱者切り捨ての構造
 - ・生産性で判断される「世の中の基準」
 - ・それに対する「天の国の基準」（コリントー 12:20-27）
 - ・「子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。」
 - ・小さな者の一人が受け入れられる時にこそ、天の国がこの地上に現される。

●聖書箇所

【ルカによる福音書 18 章 16-17 節、新約聖書 144 ページ】

「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」

【マルコによる福音書 9 章 35 節、新約聖書 80 ページ】

「イエスが座り、十二人を呼び寄せて言われた。『いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。』」

【ルカによる福音書 9 章 46-48 節、新約聖書 124 ページ】

「弟子たちの間で、自分たちのうちだれがいちばん偉いかという議論が起きた。イエスは彼らの心の内を見抜き、一人の子供の手を取り、御自分のそばに立たせて、言われた。『わたしの名のためにこの子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。あなたがた皆の中で最も小さい者こそ、最も偉い者である。』」

【コリントの信徒への手紙一 12 章 20-27 節、新約聖書の 316 ページ】

「だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かって『お前は要らない』

とは言えず、また、頭が足に向かって『お前たちは要らない』とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとしします。見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいっそう引き立たせて、体を組み立てられました。それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」

【エフェソの信徒への手紙 5 書 1-2 節、新約聖書 357 ページ】

「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」

「いっしょにうたおう」

きもちがくらくなったなら さけぼうよ

イエスさまに（ハレルヤ！）

なんでもしってるイエスさま すぐにたすけてくれる

ハレルヤ じゅうじかを見あげて

ハレルヤ いっしょにうたおう

ハレルヤ なにがおこっても

イエスさまが いつもいっしょさ